

ことばの教室だより

令和8年3月
富士市立昭和幼稚園

子どもたちが植えたチューリップの葉が大きくなって、春の訪れを感じます。「話すことが大好きな子」を目指して、サーキット（粗大運動）に折り紙（微細運動）、吹いたり吸ったりする遊び、いろいろな言葉遊びや好きなボードゲーム、たくさんのお話など、子どもたちの思いに寄り添いながら指導してきました。お家の人も一緒に遊んでくださり、私たちも楽しかったです。子どもたちの言葉の育ちにつながったのは、口や舌の体操、言葉遊びなど毎日の家庭のご協力のおかげです。ありがとうございました。

『音韻認識』、聞いたことありますか？



ことばの教室で担当が指導してきた中で、ことばの発音や読み書きの発達の土台となる『音韻認識』の力がとても大事だと感じました。今回は『音韻認識』について紹介します。

音韻認識ってどんな力？

- ことばを音に分解する力 → 「りんご」を「り」「ん」「ご」という3つの音に分ける力

- 音の順番が分かる力 → 「りんご」という言葉は「り」の音から始まり、2番目に「ん」最後が「ご」ということが分かる力
- 音の違いを聞き分ける力 → 「か」と「が」は似ていますが、違う音です。このような音の違いを聞き分ける力（例：カラスとガラス）

この『音韻認識』の力は、4歳後半頃から身に付き始めると言われています。『音韻認識』が育つためにご家庭でも簡単にできる言葉遊びを紹介します。

【リズム遊び】

- ・「ウ・サ・ギ」と言いながら3回手を叩いたりジャンプしたりする。子どもが自分で音を数えるのが難しい時は「ネ・コ」「イ・ヌ」など2文字からやってみよう！
- ・動物になりきると楽しめます。

【しりとり】

- ・リン◯→◯リ◯→◯ッ◯・・・
言葉の最後の文字から始まる言葉を言い合う。
- ・ルールを難しくしても楽しめます。
- ＜3文字言葉しりとり＞例：カメラ→ラッコ…
- ＜食べ物しりとり＞例：リンゴ→ゴマ→マメ…

【逆さ言葉遊び】

- ・「バナナの逆さま、なあんだ？」
「ナナバ！」
- いろいろな言葉を逆さまにして楽しんでみましょう。

【ことば集め】

- ・お題となる頭文字を探す遊びです。
- 例：「あ」から始まる言葉は？
「あり」→「あいす」→「あめ」・・・
- いろいろな文字から始めたり、「食べ物」「動物」などジャンルを決めたりしても楽しめます。



♪ご家庭でも言葉にたくさん触れて親子で遊んでみましょう。